

第1回 記念例会報告

直前会長挨拶

直前会長 土田 育子



こんにちは、おかげさまで無事会長を終えることが出来ました。

本日は直前会長挨拶でお世話になります。ありがとうございました。

皆さん、こんにちは。ご来賓の皆様お忙しい中ご出席頂きましてありがとうございます。昨年度皆様のご理解、ご協力のおかげで、会長として一年間務める事が出来ました。

私は昨年、2つの事を目標に活動して参りました。一つは今年度、55周年を迎えます我がクラブの土台となる様、記念事業、記念式典の具体的な計画を立てると言う事で、市内の海水浴場へ避難経路の表示板設置が決定し、それに対し地区から補助金を頂ける事も決まっております。

そして、もう一つはクラブの特徴とも言える、県内でも女性会員数1・2位である我がクラブの女性に活躍してもらおう、というものです。こちら昨年度開催致しました、ロータリーデーでは3名の女性会員が実行委員として立派に務めて下さいました。この様に一年前に会長として所信表明したことが達成出来ましたのもお越し頂きましたご来賓の皆様のご尽力と、小篠直前幹事をはじめとする我がクラブの男性会員皆さんの暖かい見守りがあったからこそと思います。今はただ鴨川ロータリークラブ55年の襷を無事、脇坂会長に手渡せたことへの安堵の思いと本日この会場にいらっしやいます皆様への感謝の思いでいっぱいです。皆様ありがとうございました。

そして、これからも鴨川ロータリークラブへご協力頂きます様お願い申しあげ私からのご挨拶とさせていただきます。

会長挨拶

会長 脇坂 保雄

皆様、こんにちは、私、本年度、鴨川ロータリークラブ会長を仰せつかりました脇坂保雄でございます。

本日は、鴨川市長 長谷川孝夫様、千葉県県議会議員 亀田郁夫様、鴨川市議会議長 辰野利文様、そして国際ロータリー第2790地区第5分区ガバナー補佐 吉岡諭史様、はじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

先ほど土田郁子直前会長から、認証状を引き継ぎまして、歴史と伝統ある鴨川ロータリークラブが55周年を迎える本年、会長を拝命しましたことは誠に光栄でございますが、その責任の重さをひしひしと感じての就任でございます。



しかしながら、皆様からの絶大なご支援ご協力があると信じて、お引き受けした次第でありますので、宜しく願い申し上げます。

2015-16年度ラビンドラン会長は「ロータリーは私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます」と述べられ、「Be a gift to the world」「世界へのプレゼントになろう」を、テーマとして発表されました。そして「地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、献身、熱意など、誰でも与えることので



土田育子直前会長から
脇坂保雄会長に認証状の引き継ぎ

きる何かをもっているはずです。ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、世界に、真の変化を起こすことができるはずです。私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。世界へのプレゼントになろう」と結んでいます。

また、櫻木英一郎ガバナーは、ラビンドラン会長が発表した「世界へのプレゼントになろう」の意味は、ロータリアンとしての行動や意志を言うのではなく「自分の意思や行為の全部が世界へのプレゼントになるような、そんな人間になろう」ということだと説明しまして、今年度の地区行動目標は「原点を知り、考える」とであると述べました。

さらに、クラブの最高意思決定機関である理事会の重要性を強調され、クラブの委員会活動は、ひとつの事業を全体で取り組むという考え方が効果的とも述べられました。

私としましては、2016年5月15日に挙行します鴨川ロータリークラブ55周年記念式典が、実行委員会だけの事業ではなく、クラブ全体の事業としての認識のもとに大成功に行わ

れますように、会員の皆様にご協力を お願いする次第でもございます。平素の活動におきましては、ラビンドラン会長のテーマをロータリー会員の誇りと認識できるように努力したい。

そして、それを具体化するために理事会を重視しまして、ひとつひとつの事業を全体で取り組むという櫻木ガバナーの考えを活かしていきたいと存じます。

私、入会当初は、事業に関係したことの無い自分には場違いではないかと思っておりましたが、様々な業種で頑張る会員の皆様の生き様から学ぶことがあると気がついたのでございます。特に、職域のリーダーとして活躍する女性会員の皆様の姿は、これからの鴨川が活性化する鍵にもなると感じています。

現在の鴨川ロータリー活動は、大変に良い雰囲気でございます。毎週の例会は 和やかで楽しく、来て良かったという思いをするのは私だけではないと確信しています。

入会4年目の私が、会長を務めることは恐れ多



いことと存じておりますが、幸いなことに、小高由香里幹事という素晴らしく、力強く、優しくもある方がそばにお出ででございますので歴代の会長はじめ皆さんで築きあげてきました鴨川ロータリークラブの伝統を引き継ぎ頑張りぬく所存でございます。

結びにご参列の皆様のより一層のご活躍ご健勝をご祈念申し上げ会長就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



会長賞授与：土田育子直前会長から
島田誠一会員・古市一雄会員に会長賞を授与



地区カバナー補佐挨拶
第5分区カバナー補佐 吉岡諭史様



祝辞：鴨川市長 長谷川孝夫様



祝辞：千葉県議会議員 亀田郁夫様



乾杯：鴨川市議会副議長 庄司朋代様



記念品贈呈：脇坂保雄会長から
土田育子前年度会長、小篠隆前年度幹事に対して、
記念品が贈呈されました。



活動費贈呈

青少年育成基金資金として
長谷川孝夫市長様



活動費贈呈

インターアクトクラブ活動資金として 文理開成高校
インターアクトクラブ顧問 古市利雄様



活動費贈呈
ボーイスカウト活動資金としてボーイスカウト鴨川第5回
団委員長 川名敏昭様



活動費贈呈
合唱団資金として 鴨川少年少女合唱団
主宰 高橋史郎様



謝礼品贈呈
例会場提供として、鴨川シーワールド
支配人 沼澤弘之様の各団体に贈呈



謝辞 文理開成高校インターアクトクラブを
代表して 部長 山口 巧君

第1回例会報告

会長挨拶

会長 脇坂保雄

皆様のご協力で本年度記念例会を意義深く開催することができましたこと、こころから御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、7月2日に私の初仕事として鴨川ライオンズ新年度第1例会に参加させていただきましたので、その報告をいたします。

開会前に「人の心は美しいか」という演題の丸淳一氏の講演がありました。大いに考えさせられる内容でしたので、次の機会に、ゆっくりと話したいと思います。

開始はロータリーと同じ鐘の音ですが、ゴングですから音色が違っていると感じました。それから、参加者に若獅子と呼称しているように若い会員がいることと雛ライオンズの女性部を組織していて、華やかさがあると感じました。若獅子は20数名いて、青年会議所会員とは別というより会員を争っているという見方もあるようです。雛の会は、

できたばかりで人数は少ないようです。

驚いたことは、最後に寄付を募ったところ、あっという間に50万円以上が集まったことです。これは、ロータリーのニコニコと規模が違いました。これを60周年記念例会費用に充てるということを知り、なるほどと思った次第です。会費は年13万円でロータリーの約半値、若獅子は4万円だったと思いますが、安値で入会しやすくしているということでした。

今回、長谷川治夫さんが入会してくれることになりましたが、我がロータリーの年会費24万円は、年金暮らしの高齢者には、ハードルが高いかもしれません。

会運営に必要な経費のこともありますが、会員増強という観点からは入会しやすい環境を模索することも必要かもしれません。だからと言ってライオンズのように値下げして若者獲得に走るのも、本会の趣旨にそうかどうか疑問ですから、今後の検討課題でしょう。

現在、日本の命運をかけるとも言われている地方創成事業がありまして、その人口減少対策のひとつにCCRCがあります。このCCRCというのは、簡単に言えば、都会に住む高齢者が地方で快適に暮らせる空間を生み出すことのようにです。

この構想を先取りして、長谷川市長は早くから

プラチナタウン構想を提唱しています。私は、この辺にロータリー会員増強のヒントがあるようにも考えておりまして、三平委員長を中心にロータリー会員増強を図って頂くよう御願ひします。

これから、YYコンビ年度の始まりです。皆さん、よろしく御願ひします。

* 委嘱状交付

伊藤正人会員に国際ロータリー第2790地区2015-16年度、櫻井英一郎ガバナーからロータリー財団、補助金小委員長就任委嘱状が交付されました。脇坂保雄会長が代理で交付。



* 幹事報告…幹事 小高由加里

- 1、伊藤会員、財団委員会 補助金小委員会委員長の委嘱状が届いております。
 - 2、上田西ロータリークラブより記念式典参加のお礼状が届いております。
 - 3、旭ロータリー、館山ベイロータリーより週報が届いております。
 - 4、地区大会記念ゴルフ大会の案内が届いております。
 - 5、ガバナー事務所より、「地区相談窓口」開設されました。
 - 6、7月のロータリーレート1ドル124円です。
- ※来週14日、例会終了後に理事会を開催致します。
理事の方宜しく御願ひ致します。



* 出席報告 出席免除会員 …… 4名

| 例会日 | 会員総数 | 出席 | M . U | 出席率 (%) |
|-------|------|----|-------|---------|
| 6月30日 | 34 | 34 | 0 | 100% |
| 7月7日 | 33 | 33 | 0 | 100% |

編集後記

脇坂保雄年度が、スタートして初めての週報です。鴨川ロータリーも発足して、55周年を迎える記念すべき年度となり、伝えることは多くなってきます。帯カラーも一新し、これからも身を引き締めて編集に心がけていきたいと思ひます。(K)